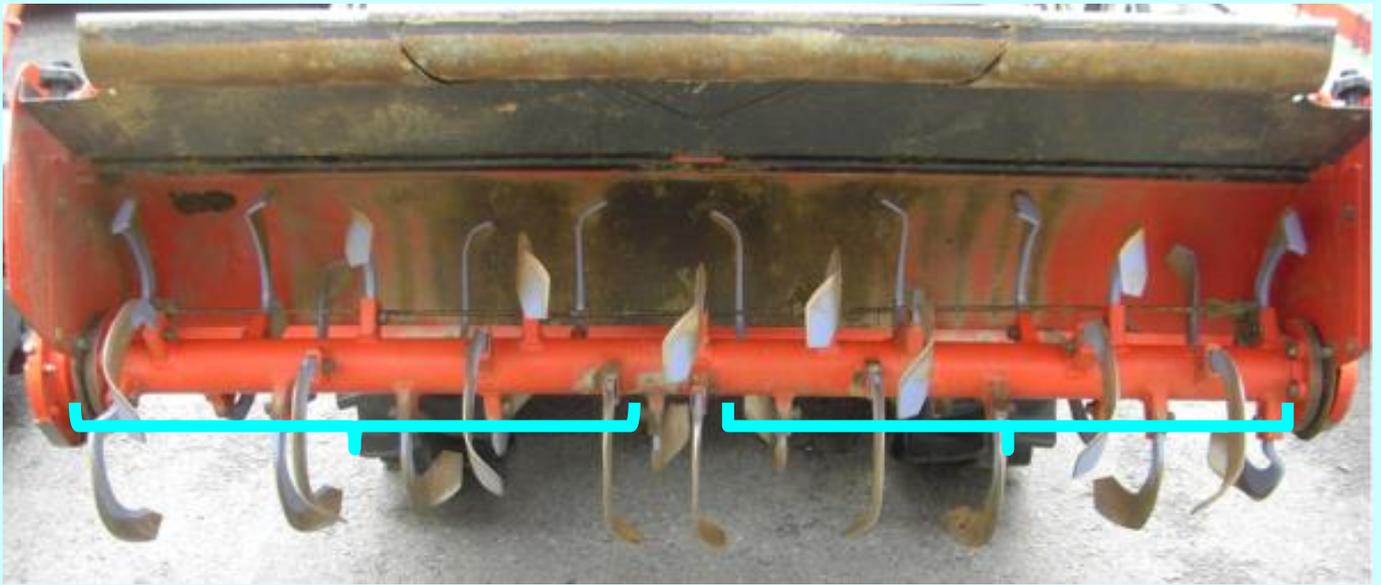


① 内盛り耕うん配列(内盛りはどのトラクタも同じ方法です)



中心に向かって
全て右曲りの
爪を取り付ける

真ん中は
左右に
振り分け

中心に向かって
全て左曲りの
爪を取り付ける

 こちら「内盛り配列」は非常に簡単で分かりやすいですね！

爪ボルトに注意

一般の
ボルト

爪専用の
ボルト



見た目は同じでもネジ山
張力・強度が全く違います



爪ホルダの穴の変形や爪取付のゆるみの原因など
重大な故障につながります

爪を取り付けれたら
何でも良い訳じゃないんです！
純正の爪ボルトを使用しましょう



これ嚴重注意!!

絶対にやってはダメ!!
爪が地面に
突き刺さってしまいます！



最悪の場合、チェン切れやギヤが
砕ける等の深刻な故障を招きます

爪を取り付ける際は
ロータリの回転方向に対して
爪先が向いてはダメ！



交換の目安



トラクタの爪が
摩耗していると
十分に碎土・
攪拌出来ません！

この部分が幅2cm以下になると、作業に
支障が出てきます。(土の反転性・碎土性・
スキ込みも著しく悪くなります)

②平面耕うん配列(多くのトラクタがこの方法)



爪の曲がり方向が
右に左に向いていて
ややこしいのですが...



爪の取付部ホルダに注目して下さい

爪取付ホルダのナットが出ている方向に
曲りのある爪を取り付ける
(右にナットが出ているので右曲りの爪をはめる)



意外と簡単でしょ



爪取付ホルダのナットが出ている方向に
曲りのある爪を取り付ける
(左にナットが出ているので左曲りの爪をはめる)

 この法則で爪を入れ替えると平面配列になります

よくある
質問

爪を平面配列にして耕うんしたのに
盛ってある土が平らにならないけど.



平面配列爪にしたからといって内盛りに盛った状態の土が
いきなり平らに耕うんはできません！
ロータリカバーで押さえながら慣らすなどが必要です
(畑のうね崩しや、代かき前の慣らし耕うんなどで行う作業)